

● 施策名

【施策7】国際化の進展に対応できる人づくりを進めます
 (関連指標：指標38～指標39 (P54))

- i 国際理解教育の推進
- ii 我が国と郷土の伝統や文化等に関する教育の推進
- iii 外国語によるコミュニケーション能力の育成
- iv 外国人児童生徒等への支援体制の整備
- v 特色ある中高一貫教育による国際人の育成
- vi 公立大学法人への支援を通じた国際交流の推進

● 代表的な取組の進捗状況

i 国際理解教育の推進

- ふくしまの未来を担う高校生海外研修支援事業
 国際社会に貢献できる人材を育成するため、学校が実施する海外ホームステイ研修に参加する高校生を対象に旅費の一部を支援する。
 (H26実績)
 県立高校7校(福島南・郡山・あさか開成・須賀川桐陽・会津・平商業・湯本)私立高校1校(会津若松ザベリオ学園)の8校計199名に対して支援を行った。



ii 我が国と郷土の伝統や文化等に関する教育の推進

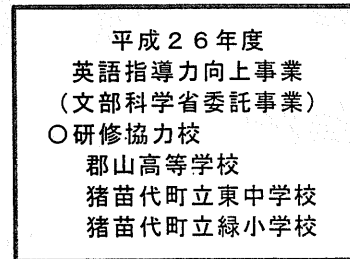
- うつくしま電子事典
 本県の豊かな自然、歴史や風土が生んだ人物や文化等の様々な情報を収録し、小中学生向けの教育用コンテンツとして整備した電子事典を作成し教科等の学習に活用できるようにする。
 (H26実績)
 各種研修会時に周知し、利活用を促進した。



うつくしま電子辞典

iii 外国語によるコミュニケーション能力の育成

- 英語指導力向上事業
 震災からの復興に向けて、国際社会の進展に対応する人づくり及び国際社会に貢献できるグローバル人材の育成を図るため、小中高等学校等における英語指導及び学習評価の改善についての実践研究を行い、その成果を県内の学校へ普及する。
 (H26実績)
 小中高等学校のモデル校を指定し、研究の成果を踏まえた公開授業及び授業研究を各モデル校において実施した。また、大学教授等を講師とする研修会を開催し、指導方法や言語活動、評価等について研修を行うとともに、文部科学省による中央研修に教員8名を派遣した。



iv 外国人児童生徒等への支援体制の整備

○ 外国人児童生徒等への支援体制の整備

外国人児童生徒等への日本語指導のために、特に多くの外国人児童生徒が在籍する学校へ指導教員を配置する。

(H26実績)

県北地区小学校2校、県中地区小学校1校、中学校1校、県南地区小学校1校、会津地区小学校1校、いわき地区中学校1校にそれぞれ1名ずつ配置した。

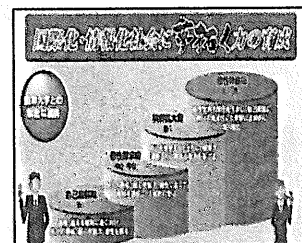
v 特色ある中高一貫教育による国際人の育成

○ 双葉地区教育構想（国際人育成プラン）

震災からの復興に向けて、国際社会に貢献できるグローバル人材の育成及び双葉地区教育構想の基本目標である「国際人として社会をリードする人材の育成」の実現のために、海外留学や国際理解事業により、実践的なコミュニケーション能力や異文化理解に富む人づくりを推進する。

(H26実績)

文化・スポーツ交流を目的として、フランスの姉妹校に富岡高校の生徒6名及び教員2名を2週間派遣した。また、JICA職員等による授業を年間7回実施した。



併設型中高一貫校のイメージ

●問題点・改善等が必要な項目

① 国際理解教育の推進

- ・ 朝河貫一賞やふくしまグローバルセミナー等の事業参加者の更なる増加。

② 外国語によるコミュニケーション能力の育成

- ・ 英語指導及び学習評価についての先進的な取組の全県での共有化。

③ 外国人児童生徒等への支援体制の整備

- ・ 研修会参加者による伝達講習会等の実施。

●取組の方向性

① 国際理解教育の推進

- ・ 広報活動を通して各事業の魅力を発信するとともに、関係機関と連携して事業参加者の増加を目指す。

② 外国語によるコミュニケーション能力の育成

- ・ 外国語指導助手を対象とする研修会や、英語指導及び学習評価についての教員を対象とした研修会の内容を充実させる。

③ 外国人児童生徒等への支援体制の整備

- ・ 国際交流協会等、関係機関との一層の連携を図り、日常生活で不便のない日本語の力を培う。